

会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成23年度第1回定例会
開催日時	平成23年5月26日（木曜日）午後3時から5時まで
開催場所	イングビル第4会議室
出席者	委員：谷関委員、富川委員、吉田委員、服部委員、鈴木委員、榎本委員、小西委員、大澤委員 事務局：奈良館長、西村副館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議題	1 委員委嘱について 2 諸報告について 3 平成23年度図書館協議会の活動について 4 その他
会議資料の名称	1 平成22年度西東京市図書館事業実績 2 平成23年度西東京市図書館事業計画 3 平成23年度図書館協議会日程 4 平成23年度西東京市図書館協議会委員名簿 5 西東京市図書館だより 第41号 6 第2期西東京市子ども読書活動推進計画 7 レファレンス協同データベース事業へのご協力に対する御礼状送付について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○館長： 定刻になりましたので、図書館協議会を始めさせていただきます。2年間どうぞよろしく願いいたします。日程に沿って進行させていただきます。委嘱状についてはお手元にお届けいたしております。</p> <p>本日は、今期第1回の定例会で、委員初顔合わせとなりますので、自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>（出席委員自己紹介）</p> <p>○館長： どうもありがとうございました。 続いて、正・副会長の選出について、立候補なさる方がいないようでしたら、前会</p>	

長から推薦していただきたいと思います。

○委員：

会長に服部委員、副会長に小西委員を推薦します。

○館長：

ただいま、会長に服部委員を、副会長には小西委員を、との推薦をいただきましたが、ほかに意見はありませんか。ないようでしたら決定させていただきます。正・副会長が決まったところで、本日のこれからの議事進行は会長にお任せしますので、よろしく申し上げます。

○会長：

それでは、平成23年度西東京市図書館第1回定例会を議事に沿って進めます。第2諸報告について、館長から説明をお願いします。

○館長：

はじめに本日の日程の確認ですが、議題が終了した後、初めて図書館協議会委員なった方もいらっしゃるので、図書館事業の見直しについての経緯を大澤委員から説明していただきたいと思います。

(1) 平成22年度西東京市図書館事業実績については、詳細を掲載した事業概要を次回に配布する予定ですので、今回は要点を報告します。

1 登録者一人当たりの貸出数は44.5冊で、多く利用されていることを示しています。2 図書購入費は、市民1人当たり299円で、前年度まで300円を超えていたので、少し減っているということです。3 蔵書数758,893冊は、各館の収容能力が限られているので、大きな変化はありません。4 貸出利用登録については、市内の登録率は21.9パーセントで、市外登録者は、保谷駅前図書館で練馬区、ひばりが丘図書館で東久留米市が際立って多いというのが特徴です。5 貸出冊数については、前年より約4万冊少なくなっています。これは大震災の影響があったのではないかと考えます。貸出方法では自動貸出機の利用が増えています。リクエストサービスおよび団体貸出件数は増加しています。6 ハンディキャップサービスでは、新規利用者が増加しています。

○会長：

ただいまの報告について何か質問はありますか。

○委員：

リクエストサービスの中で購入対応は増えていますか。

○館長：

例年とあまり変わりません。

○委員：

購入冊数の内、リクエストで対応する図書購入が多くの割合を占めると、図書館と

してバランスをとって選書する図書の割合が少なくなってきたのではないかと心配です。市民の要求を満たす図書費が足りない印象はありませんか。

○館長：

それはないと思います。合併時から比較すると、図書購入費は1千万円以上少なくなっているが、ここ数年の近隣自治体の図書購入費の減少を考えると、西東京市は水準を維持していると考えます。

○会長：

児童書に関して言うと、名作ものの多くが廃棄されたり、閉架に入っていることが気がかりです。蔵書構成について再考していただきたいと思います。

○委員：

閉架にでもあれば良いが、場所がないということで廃棄されてしまっては取り返しのつかないことになってしまいます。市として保存スペースを確保してほしいと思います。

○会長：

他にないようでしたら、平成23年度西東京市図書館事業実績について報告をお願いします。

○館長：

平成23年度図書館運営方針として、1 目標、2 指針、3 事業評価は例年と同じですが、4 重点事業として、(1) (仮称) 東伏見市民サービスプラザにおける公共サービスの提供、(2) ICタグを活用した予約棚の中央図書館設置の実施、(3) 未所蔵予約の制限の実施は、いずれも7月から開始します。平成23年度事業計画は、1の図書館資料の収集と保存から、17の図書館サービスの評価まで17項目の事業を各担当者が計画しております。

○会長：

運営方針・事業計画について何か質問はありますか。

○委員：

ICタグを活用した予約棚というのは、どのようなしくみなのでしょう。

○館長：

予約本を受け取る時、利用カードを示すと予約本のある棚の位置を示したチケットが出てくるので、それを利用者が自分で探して借りるというシステムです。

○会長：

(3) 第2期西東京市子ども読書活動推進計画について報告をお願いします。

○館長：

第1期が平成22年度に終了したことに伴い、継続して23年度から27年度まで、西東京市の子どものさらに豊かな読書環境づくりの整備をめざし、「第2期西東京市子ども読書活動推進計画」を策定しました。読んでいただきまして、ご意見をいただきたいと思います。なお、今回はパブリックコメントを実施したところ、多くの意見をいただきました。

○会長：

第3 平成23年度図書館協議会の活動についてお願いします。

○館長：

今年度の協議会は、4回の定例会と2回の臨時会を予定しています。また、11月頃に見学を予定しています。

内容については、施設の問題についてご意見いただくのはどうかと考えています。

○会長：

人事の問題の動きについては、随時聞いていきたいと思っています。

11月の見学については、早めに見学先を考えていただきたいと思っています。

続いて、第4 その他についてお願いします。

○館長：

4月に人事異動がありました。図書館は現在欠員1名です。

節電対策について公共施設節電対策関係者会議が開催され、7月から9月までの夏期についての基本方針が検討されました。6月中に具体策を公表することになります。

図書館においても現在検討中です。

レファレンスサービスについて、国立国会図書館関西館から、レファレンス協同データベース事業への協力に対して、御礼状が送付されました。

○会長：

今回初めて図書館協議会委員になった方もいらっしゃいますので、残りの時間で、図書館事業の見直し等について大澤委員から講義していただきます。

○委員：

「図書館事業の見直し」は、図書館協議会が平成20年度事業として、西東京市行財政改革大綱に基づいて、図書館のあり方を提言したものです。本日は概要を説明します。

全体は5項目で構成され、「はじめに」の文章の後、第1で西東京市行財政改革大綱（第1次）（第2次）について説明してあります。第2 西東京市図書館の現状では、平成20年度時点での西東京市図書館の利用の現状、資料、サービス、職員、施設等について報告しています。

3 図書館のあり方以降が実質的に重要な内容で、図書館の役割、今後、西東京市図書館はどのような方向に進む必要があるか書いてあります。

4 西東京市図書館運営の合理化とその評価で、図書館の委託化、指定管理者制度について触れ、5 これからの図書館事業についてで、図書館協議会としては、これ

からの図書館事業のあり方について、職員の資質の向上の問題と合わせて、市民嘱託員方式を採用していく必要があるとまとめています。

次に図書館法について解説します。図書館法は全29条で構成されていますので、時間のある時にご一読ください。

中でも重要なのは第10条 設置で、図書館の設置は地方公共団体が条例で定めるという内容であり、自治体の自由裁量に委ねられていることを示します。

4月に、政府が図書館法改正案を提出しました。図書館協議会委員の構成の規制を緩和するものです。

最後の第29条は、図書館法は地方自治を基準として作られるという内容で、図書館法は地方自治を柱として作られている示しています。

○会長：

時間になりましたので、本日の協議会は終了します。今後ともどうぞよろしく願います。